

2013年11月～2019年12月に当院にてプラチナ製剤を含む化学療法にアバスチンを併用し、アバスチンでの維持療法を受けた方へ

1. 研究の対象

2013年11月1日から2019年12月31日までにプラチナ感受性の初回再発をきたした卵巣癌、卵管癌、原発性腹膜癌の症例で、プラチナ製剤を含む化学療法にアバスチンを併用し、アバスチンでの維持療法を受けられた方

2. 研究目的・方法

アバスチンで治療された方のプラチナ製剤投与フリー期間とその後のプラチナを含む化学療法に対する反応を後方視的再検討することで、アバスチンを併用療法の奏効期間が予測でき、今後の治療における薬剤選択に役立つ可能性があります。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

カルテに記載された初回治療の情報、再発時の情報、治療の効果などの診療情報を使用します。個人が特定される情報は用いません。

4. 研究全体の期間と予定症例数

研究参加施設全体で100例の情報集積を目標として、研究期間は当院実施承認後～2021年2月末を予定しています。

5. 研究結果の公表について

本研究の成果は国内外の学会および学術雑誌で発表します。

6. 個人情報の取り扱いについて

研究に利用する情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を使用します。また、研究用の番号とあなたの名前を結びつける対応表を作成し、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果が発表される場合にも個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

7. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

8. 研究組織

川崎医科大学産婦人科学1 田中 圭紀  
川崎医科大学総合医療センター 本郷 淳司 ほか  
三海婦人科がんスタディグループ参加病院  
三海婦人科がんスタディグループ公式ホームページ <http://www.sgsg.biz/>

9. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【研究機関】 国立病院機構 四国がんセンター 婦人科

【研究責任者】 竹原和宏

【連絡先】 〒791-0280 愛媛県松山市南梅本町甲160

国立病院機構 四国がんセンター 婦人科 竹原和宏

TEL: 089-999-1111 (代表)

FAX: 089-999-1128

研究代表者:

研究代表責任者 川崎医科大学産婦人科学1 田中 圭紀

本研究への参加に同意しない場合は、連絡先までご連絡下さい